

CLAIR トピックス

——最近のクレアの動きや所管国の状況等を
短くまとめて紹介します



ロンドン事務所

欧州最大級の日本文化発信イベント「日本デー 2022」に出展し日本各地の魅力を発信

5月21日、独・デュッセルドルフで欧州最大級の日本文化発信イベント「日本デー」が開催され、ロンドン事務所もブース出展し、自治体パンフレットの配布、ポスター展示を行うなど日本各地の魅力をPRしました。今回はタブレット端末も利用して自治体の観光PR動画の放映や来場者からの質問に対する情報提供を行ったほか、各自治体の最新かつ魅力的な情報をイベント当日以降も来場者に継続的に閲覧していただくことを目的として制作した、都道府県の英語版の観光サイト、SNS、YouTubeについてのQRコード表も多く来場者に利用していただき、各サイトへの誘導を行いました。また、来場者の名前を書く書道パフォーマンスが大変好評で、行列ができるほどでした。

同イベントは新型コロナウイルス感染症の影響により、過去2年間にわたって中止とされましたが、3年ぶりの開催となる今回、日本文化に直接触れることを心待ちにしていた多数の来場者があり、和装やアニメなどのキャラクターの衣装に身を包んだ来場者も数多く訪れ、会場は大いに盛り上がりしました。複数設けられたステージでは、和太鼓や琴の演奏、柔道、剣道、居合道などの演武、コスプレファッションショーやカラオケ大会などが行われたほか、生け花、着物の着付け、日本語教室など様々な体験ができるブースが設けられました。また、夜23時頃からは、日本から招かれた花火師による大規模な花火大会も行われ、花火が打ち上がるたびに大きな歓声が上がリ、来場者は一日を通して日本文化を満喫されました。



クレアブースの様子



QRコードを読み取る来場者



ソウル事務所

大学生を対象とした出前講座を開催

クレアソウル事務所では、大学の日本語学科等の学生を対象に、日本の地方の特色や文化、観光情報等を紹介する出前講座を開催しています。

5月17日には忠清南道にある白石大学の協力を得て、2名の職員が大学生を前に講義をしました。

講義では、派遣元自治体（鹿児島県、鳥取県）について、PRするとともに、「JETプログラム」についても紹介しました。

学生たちは非常に熱心に耳を傾け、講義終了後には、学生たちから「鹿児島県、鳥取県のおすすめの場所はどこか?」といった質問や、「コロナが終わったら、鹿児島県、鳥取県の両方を訪れたい」「JETプログラムに参加したい」といった声が聞かれるなど、日本への関心の高さが窺えました。

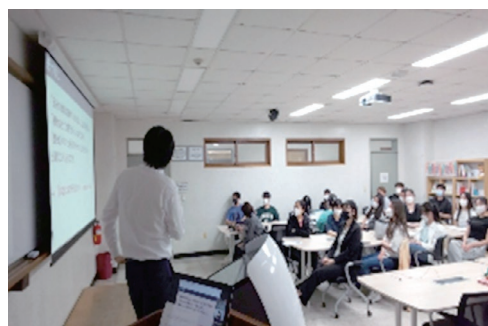
実際に大学へ行って講義をしましたが、オンラインとは違い、生徒の反応を身近で感じることができ、貴重な体験となりました。

また、コロナ禍で日本人となかなか交流ができない学生たちにとっても良い機会になったと言ってもらえました。

クレアソウル事務所では、今後も将来の日韓交流の担い手となる大学生に日本の地方の魅力を伝えることで、相互理解の促進と交流推進を図ってまいります。



派遣元自治体についての講義



熱心に講義を聞く大学生たち



ニューヨーク事務所

「Japan Parade」へブース出展しました！

2022年5月14日にニューヨーク市内で初の「Japan Parade」が開催されました。ニューヨークでは2007年から「Japan Day」として、日本文化の理解促進とともに、ニューヨーク市への感謝を示すためのイベントが例年実施されていましたが、新型コロナウイルスの影響で2020年は延期となり、2021年はオンラインでの開催となっていました。

2022年は、1872年に岩倉具視を特命全権大使とする使節団が米国に渡ってから150年となる節目の年に当たることを記念し、初めてパレード形式で開催されました。セントラルパークの西側の通りを通行止めにして行われたパレードには、約90団体が参加しました。オープンカーや山車のほか、お神輿を担いだり踊りを披露したりと様々な方法で参加しており、3年ぶりのイベントを楽しんでいる様子でした。また、JETAA（元JET参加者の会）ニューヨーク支部からも数十名がパレードに参加し盛り上げてくれました。沿道には2万人を超える観客が集まり、パレードが始まると大きな拍手や歓声が上がりました。

クレアニューヨーク事務所はパレードの終着点付近で開催されたジャパンストリートフェアにブース出展を行いました。パレードの開始直後から多くの人々が訪れ、パンフレットを手に取りながら、お薦めの観光地や具体的な旅行計画を相談する来場者もみられました。また、JETプログラムについて質問する来場者も非常に多く、終日大盛況でした。



ブース出展の様子



パリ事務所

ブリュッセル首都圏事務総長組合のセミナーに参加

4月21日、クレアパリ事務所は、ベルギーで開催されたブリュッセル首都圏事務総長組合（FSCB）のセミナーに参加しました。このセミナーは自治体の事務総長らを対象としたもので、各種の政策課題をテーマに様々な講演が行われました。

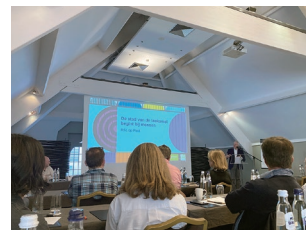
福祉政策をテーマにした講演では、社会福祉センターと行政窓口を一体化した公共施設が好事例として紹介されました。料理など、趣味のアトリエが開かれている施設の中に行政窓口を設置することで、福祉関連の施設や制度の利用に心理的な抵抗を覚える人でも窓口にアクセスしやすくなるというメリットが生まれていることが説明され、この取り組みは日本の自治体においても活用が可能であると感じました。

別の講演では、コロナ禍での緊急対応をテーマに活発な議論が行われました。講演では、ベルギーには緊急事態に対応するための法律がないため、緊急措置について法整備のないまま憲法解釈で対応し、憲法の効力停止という事態を避けることができた、という研究者の発表がなされました。これに対し、法的根拠がない措置の執行を強いられた行政からの苦言も示され、各参加者の立場の違いを反映した様々な見解を聴くことができました。

また講演以外では、FSCBとクレアパリ事務所の連携を再確認し、今後の取り組みを見据えて親交を深めることができました。



セミナー会場となった Martin's Château du Lac



セミナーの様子



シンガポール事務所

京都府・熊本県がテスト販売・プロモーションを実施！

京都府は2月、熊本県は3月にシンガポールでの販路開拓・拡大を目的として、府・県産品のテスト販売・プロモーションを実施しました。

京都府は、ハッ橋、京茶珈琲、宇治茶などの加工食品と府産日本酒の販売、および京野菜や京都産の高級肉ブランド・Kyoto Beef 雅、京ゆばなど、今回のフェスティバルのために特別に京都から輸入した食材を使った特別メニューをシンガポールの人気レストランとカフェである TEPPEI グループの計3店舗で提供する「京ものフェスティバル」を開催しました。

熊本県は、在シンガポール企業であるフィッシュマートさくらやと連携し、県産水産物を使ったダイニングメニューをレストラン3店舗で提供するとともに、県産品を2店舗で販売する熊本県フェアを開催しました。

同社 CEO の岩下順二氏によれば、熊本県のフェアは、2021年度も同様のキャンペーンを行ったため、着実に認知度が高まっており、特にダイニングメニューの売れ行きが好調。コロナ禍でシンガポール国内の消費意欲が高まっており、今後も地域と連携して、日本食の裾野を広げ、より多くの中間層の方に日本の良さを伝えたいとのことでした。



京都カフェ MoMiJi で提供された府産加工食品等



熊本県産水産物を使用したダイニングメニューとさくらや CEO 岩下氏



シドニー事務所

コドモノヒ・ジャパン・フェスティバル 2022 で PR

クレアシドニー事務所は、5月1日、南オーストラリア州の州都アデレード市の都市圏にあるウエストトレンス市で開催されたコドモノヒ・ジャパン・フェスティバル 2022 に出展し、日本各地の地方自治体の PR および JET プログラムの PR、さらには、2023 年に開催予定の FINA（国際水泳連盟）世界水泳福岡大会 & FINA 世界マスターズ水泳九州大会の PR を行いました。2021 年に続いて 2 回目の出展で、多くの来場者が日本の人気観光地や観光の情報を求め、クレアシドニー事務所のブースを訪れました。日本の有名な観光地の情報を求める方だけでなく、南オーストラリア州の姉妹県である岡山県やアデレード市の姉妹都市である姫路市の情報を求める方もいました。

来場者からは、JET プログラムに関する質問に加えて、観光客の日本への渡航規制が解除される時期についての質問がなされ、早く日本を訪問し、日本ならではの風景、文化、食べ物を楽しみたいという期待を感じました。

クレアシドニー事務所では、引き続き、日本各地の地方自治体のオーストラリアおよびニュージーランドにおけるプロモーションを支援していきます。



来場者に PR を行うクレアシドニー事務所職員の様子



会場内で行われた餅つき体験の様子



北京事務所

北京事務所が実施する「WeChat を活用した情報発信事業」をご紹介します！

クレア北京事務所では、日本の地域の魅力を PR するため事務所公式 WeChat[※] アカウントから様々な情報を定期的に発信しています。

2022 年度は、季節にちなんだ日本文化や風習、各地の最新観光スポット、話題のアニメ・漫画の聖地など中国で人気のあるテーマをとりあげ、あわせて地域の特産品やイベント、美景・美食などを紹介する予定です。クレア北京事務所では、中国で好まれる美しい写真を多用した記事の掲載に取り組むほか、抽選で記事閲覧者に日本の伝統工芸品が当たるキャンペーンを実施するなどして、多くの方に記事をご覧いただいています。

地域の魅力の PR 記事のほか、自治体からのお知らせや各種事業の募集案内なども発信しています。中国の方にお伝えしたいことがあれば、ぜひクレア北京事務所へお問い合わせください。

※ WeChat とは、中国大手 IT 企業のテンセントグループが提供する SNS アプリです。月間のアクティブユーザーは約 11 億人に上り、ショートメッセージでのやりとりのほか、支払い、情報発信・収集のソースなどとして生活に根付き、中国で広く普及しています。

【お問い合わせ】

Tel : (+86) 10-6513-8791 Mail : clairbj-jp@clair.org.cn



北京事務所の公式 WeChat アカウント（読み取りには WeChat アプリが必要です）



配信記事の一例（各地の「朝市」をテーマとした記事）



JET プログラム事業部

「KenJETkai (ケンジェットカイ)」で JET プログラム経験者とつながりができています

JETAA-I の Facebook に、任用されていた都道府県ごとの単位で活動する「KenJETkai」が近年多数立ち上がっており、Facebook のグループにリンクされています。

「KenJETkai」とは、JET プログラム参加者が、プログラム終了後、任用されていた都道府県単位で活動する Facebook 上のグループです。JET プログラムを終了した JET プログラム経験者は、日本との懸け橋として世界中で活躍しており、世界各国・地域の同窓会として JETAA を組織しています。そして、それらをつなぐ国際的な組織として「JETAA-I (JETAA International)」があります。「KenJETkai」には現役の JET プログラム参加者や自治体はもちろん、JET プログラムの関係者であればどなたでも気軽に参加でき、JET プログラム関係者のつながる場となっています。2022 年 2 月現在で 43 都道府県、総計 4,690 人が参加しており、JET プログラム経験者への観光 PR や、任用された地域に残っている人材の活用など、世界中にいる JET プログラム関係者間のさらなる連携強化につながっています。自治体にとって、新たな広告や連携のフィールドが広がる可能性がありますので、活用を検討されてみてはいかがでしょうか。



KenJETkai Facebook ページより

交流親善課

オンライン交流セミナー「自治体等の国際交流事例紹介」を開催します！

国際交流の事例を共有し、新たな国際交流を推進することを目的として、オンライン等を活用して行われた先進的な交流を紹介するオンライン交流セミナーを2022年7月15日（金）に開催します。

自治体間交流の現状や課題、これまでにいった創意と工夫に富んだ取り組みについて、自治体等から事例発表を行います。新たな国際交流の方法を考える機会となれば幸いです。

セミナーの詳細や参加登録の方法等は、下記ホームページで順次お知らせしていきます。多くの自治体および地域国際化協会等関係者の皆様のご参加をお待ちしております。

- ・日 時：2022年7月15日（金） 14：00～15：10（予定）
- ・場 所：オンライン（Zoom を使ったウェビナー形式）
- ・テーマ：オンライン等での新たな国際交流の取組
- ・オンライン交流セミナーホームページ：http://www.clair.or.jp/j/exchange/shien/online_seminar.html

経済交流課

令和4年度第1回海外経済セミナー
「アメリカ市場の実情と越境 EC 活用へのヒント」を開催しました！

6月7日にオンラインで開催した今回のセミナーでは、アメリカ国内の食ビジネスの実情や、越境 EC を中心としたアメリカ国内への販路開拓をテーマに、以下の方にご登壇いただきました。先進事例などを交えることで、経験が浅い担当者向けでありながらも実践的な手法も網羅する内容となり、参加者から好評を得たところです。

○日本食文化振興協会（JFCA）事務局長 二見 義之氏

○独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）EC ビジネス課

都築 佑樹氏

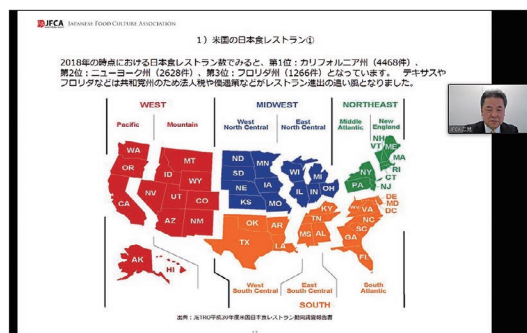
○神奈川県北米事務所 ニューヨーク駐在員 鈴木 仁史氏

（※氏名は登壇順）

ご講演内容の動画、使用資料（本セミナー受講者の期間限定）など、本セミナーの詳細な内容については、クリアホームページ（<http://economy.clair.or.jp/activity/seminar/>）をご覧ください。

第2回海外経済セミナーについて

第2回は、「海外販路開拓・インバウンド対策の基礎（仮）」をテーマに、8月上旬の開催を予定しています。各地の魅力的な産品や観光コンテンツをいかに販売していくか、お悩みの担当者には必見。詳細が決まり次第、クリアホームページなどで公表します。



セミナー当日の様子

多文化共生課

多文化共生ツールライブラリーをぜひご活用ください！
～多文化共生の推進に役立つ各種ツールを登録・検索できます～

クリアでは、全国の行政機関や地域国際化協会などの団体が作成した多文化共生の推進に資するツールを集約したウェブサイト「多文化共生ツールライブラリー」を運営しています。

ツールライブラリーには、2022年7月現在で約200件のツールを掲載しています。掲載ツールは、「やさしい日本語」の手引き、医療施設や災害時の避難所で使用するための多言語指差しボード、日本の学校制度に関する説明書、自治体が多文化共生にかかる方針を作成する際に役立つマニュアルなど、様々です。

災害対策、子ども・教育、医療福祉、生活情報といった分野や、ツールが対応している言語、キーワードから、該当する掲載ツールを検索して、ご覧いただけます。

各地域で作成されたツールを掲載することで、他の地域でもご活用いただけるよう、随時ツールの提供を受け付けています。また、フェイスブックでは、毎週水曜日に、ランダムにツールをピックアップして紹介していますので、ぜひご覧ください。

URL：http://www.clair.or.jp/j/multiculture/tool_library/index.html

Facebook：<https://www.facebook.com/tabunka.clair/>



多文化共生ツールライブラリー サイトページ

サイトはこちらから閲覧
できます。

